

飼い主の災害時への心得

急いで机の下などに身を隠そう！



1.

飼い主の安全確保

まずは、自分の身の安全を確保しましょう。災害時にペットを守るためには、まず飼い主が無事でいることが大切です。飼い主が自らの安全を確保することが、災害時にもペットを適切に飼養することにつながります。

2.

ペットのしつけ

安全に避難でき、避難所等で周囲の人へ迷惑をかけず、安心して過ごすためには、ワクチン接種などの健康管理とともに、人や他の動物に友好的であることやむやみに吠えない、ケージに入るなど日頃からの社会化やしつけが大切です。

おすわり！



3.

ペットと安全な避難

ペットと一緒に避難する際は、ペットも興奮しているため、普段と異なる行動をとることもあります。飼い主が落ち着いて普段通りの言葉をかけるなど、ペットを落ち着かせましょう。避難時はリードやキャリーバッグなどを用いて逸走対策を行い、安全に気を配りながら避難しましょう。

落ち着いて避難しよう！



災害時に役立つ！



LEDライトカラビナ付 [特別付録]

①電池交換はキャップを回して外し、本体より電池ケースを取り出し、電池をセットする(この時、パネのある側にマイナスがくるように電池を入れる)。②電池ケースの矢印マークがライトの先端を向くようにして本体に戻し、キャップを閉める。③スイッチを一度押せば「点灯」、再度押すと「消灯」。

注意！

※LEDは交換できません。※点灯しないまま、スイッチをつけたままにすると本体が熱くなる恐れがあるので、電池をぬいてください。※防水仕様ではありません。※単4電池×3本が別途必要になります。

災害対策について詳しくはこちらをお読みください。



人とペットの災害対策ガイドライン
[一般飼い主編]

https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/h3009a.html



ペットも守ろう！防災対策

https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/h2909a.html



備えよう！いつもいっしょにいたいから

https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/h2309a.html

人とペットの災害対策ガイドライン

2021年3月 発行

発行 環境省中国四国地方環境事務所
〒700-0907

岡山市北区下石井1-4-1 岡山第2合同庁舎11階
<http://chushikoku.env.go.jp>

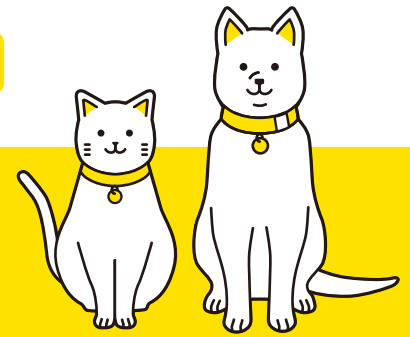


リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

内容に関するお問い合わせ先

TEL. 086-223-1561

飼い主の方へ



人とペットの災害対策ガイドライン

役立つ！

DISASTER PREPAREDNESS
GUIDELINE For Humans & Pets

もしもの時のための
災害対策方法を
分かりやすく解説！

災害が起きた時あなたは、
大切なペットを守れますか？

環境省中国四国地方環境事務所



ペットのための 災害対策は、 大丈夫ですか？

災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。

災害時には人間でさえ必死な状況の中、

動物たちも突然の事態に驚いて、普段とは異なる行動を

とるかもしれません。

その時、ペットを守ることができるのは「飼い主」だけです。

あなたの家族とペットがともに安全に避難でき、

避難生活の中で、周りの人に迷惑をかけず、

安心して過ごすためには、

日頃からの心構えと備えをしておくことが大切です。

ケーススタディから学ぶ災害対策

case
1 避難中にペットが逃げ出したり、
ペット受け入れ可能な避難所が分からない。

キャリーバックや
ケージに慣れさせる。
迷子札も忘れずに！



ペット受け入れ可能な
避難所があるか事前に確認！

〔改善ポイント〕避難用品の準備、所有者明示、避難所の確認

キャリーバックやケージに普段から慣らしておくことでスムーズに避難ができます。また、ペットが逃げ出した時のために身元を示す迷子札やマイクロチップの装着等の対策も必要です。さらに、ペット受け入れ可能な避難所と避難所までの経路を確認しておきましょう。

case
2 避難所にペットフードやトイレ用品がなく、
また、避難生活のストレスでむやみに吠えた。

食料などは、最低5日分は
用意しておくとうれしい！



〔改善ポイント〕ペット用備蓄品の準備、ペットのしつけ

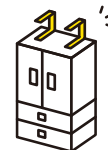
ペット用支援物資が届くまでにかかる時間を考えて、最低5日分の用意をしておきましょう。また、たくさんの人や動物が集まる避難生活は、ペットもストレスになるため、普段からのしつけや社会化は災害時にも役立ちます。

＼ もしもの時のために今すぐ準備や対策を！ /

平常時に飼い主が行うことリスト

自分が何個できているかチェックしてみよう！

1.



住まいや飼養場所の
防災対策

2.



ペットのしつけと
健康管理

3.



所有者明示
(迷子札・マイクロチップ等)

4.



ペットの避難用品や
備蓄品の確保

5.



情報収集と
避難訓練

6.



家族や地域住民
との連携

7.



ペットの
一時預け先の確保

MESSAGE

飼い主は災害に対する「十分な備え」を行い、常に飼い主の責任を果たす「心構え」を持つことが大切です。

裏面のwebサイトから、詳しい
災害対策情報を確認できます。

CHECK!